



市議会だより

みやま^んギカイ

No.60 令和4(2022)年2月1日発行

令和3年10月臨時会・12月定例会の内容などをお伝えします。

大相撲

大嶽部屋おおたけ

坂井さかい

翔一さんしょういち



CONTENTS

- P2~3 10月臨時会の概要等
- P4~5 12月定例会の概要等
- P6~10 一般質問
- P11~12 委員会の報告
- P13 表紙のひとなど
- P14 聞かせて!あなたの夢

8月豪雨復旧費とコロナ対策費を可決

—— 臨時第3回市議会で決まったことから主なものを取りあげます。 ——

臨時第3回市議会

会期 10月19日(1日間)

臨時第3回市議会では、8月豪雨に係る災害復旧事業及び新型コロナウイルス3回目接種体制確保、ならびに新型コロナウイルス感染症に係る支援策(がまだす・みやま全力応援事業第14弾)として提案された一般会計補正予算の議案1件を審議し、可決しました。



詳しくはこちら↓

一般会計補正予算額

8億4045万9千円

(内訳)

災害復旧関連

7億3400万円

新型コロナウイルス関連

914万2千円

新型コロナウイルス感染症

対策関連

9731万7千円

災害復旧費の主なもの

農業用施設災害復旧事業

1億2700万円

豪雨により被災した農業用施設(水路・農道等)の復旧工事を行うものです。

林道施設災害復旧事業

1億7000万円

豪雨被災の林道施設の復旧工事を行うものです。

農地災害復旧事業

2500万円

豪雨被災の農地の復旧工事を行うものです。

公共土木施設災害復旧事業

4億1200万円

豪雨により被災した公共土木施設(道路・河川等)の復旧工事を行うものです。

新型コロナウイルス関連の主なもの

健康情報管理システム改修委託料

243万1千円

新型コロナウイルスの3回目接種に対応するため、システム改修委託料を追加するものです。

接種券印刷・封入封緘業務委託料

400万円

3回目接種の接種券印刷及び発送準備業務を行うものです。

新型コロナウイルス感染症対策みやま市支援策
(がまだす・みやま全力応援事業・第14弾)

※第14弾について詳しくはこちら↓



市内中小事業者支援(減収一時応援金)

500万円

緊急事態宣言に伴い影響を受けた市内中小事業者に対し、市独自の一時応援金を支給し、事業継続を下支えするものです。

店舗等衛生確保支援事業(第3弾)

1000万円

店舗等の衛生水準を高めることで、利用者の安全を確保するとともに、事業の継続を支援するものです。

非接触型決済推進事業

2614万円

店舗等における非接触型決済を推進するため、導入店に支援金を支給し、「みやまマイルペイ」導入店には、追加で支援金を支給するものです。

オルレコース整備事業

1000万円

豪雨の影響で閉鎖中のコース復旧工事を行い、コロナ後の観光誘客に備えるものです。

道の駅みやま空調設備整備事業

2100万円

店内の3密防止など感染防止対策を図るとともに、衛生対策の観点から、空調設備の増設工事を行うものです。

児童福祉従事者等継続支援金

1169万円

ワクチン接種対象となっていない12歳未満の児童の保育、支援に従事されている職員の方に対し支援金を支給するものです。

修学旅行等キャンセル料助成事業

277万円

新型コロナウイルス感染症拡大懸念の中、修学旅行及び校外学習等の学旅行事において、保護者負担軽減のためキャンセル料を助成するものです。

その他感染症対策事業

822万円

- 小中学校雨漏り補修事業 600万円
- 放課後児童クラブ施設補修事業 57万円
- ルフラン水道蛇口交換事業 45万円
- 抗原検査キット購入 100万円
- 救急車用飛沫拡散防止カバー 20万円

こんなことが決まりました

—— 定例第4回市議会で決まったことから主なものを取りあげます。 ——

一般会計

16億6726万4千円を追加し
総額 266億2836万8千円

補正予算の財源

○ 地方交付税	1億2380万円
○ 国庫支出金	7億9237万7千円
○ 県支出金	8885万2千円
○ 繰入金	▲4500万円
○ 繰越金	4183万5千円
○ 諸収入	180万円
○ 市債	6億6360万円

◆ 令和3年度 補正予算 ◆

会期 11月30日～12月10日(11日間)
定例第4回市議会では、令和3年度補正予算など議案13件、請願1件、同意1件、発議1件を審議し、すべて可決・採択・同意しました。

定例第4回市議会

詳しくはこちら↓



一般会計補正予算歳出の主なもの

3回目ワクチン接種の準備を進めます
ワクチン接種事業費 9643万2千円

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に対応するため、接種委託料及び予約受付コールセンターや予約支援窓口業務委託料を追加するものです。

被災した農業を支援します

被災大豆農家営農継続支援事業費補助金
1500万円

令和3年8月豪雨により、大豆の収穫が皆無となったほ場において、次期作までのほ場管理に係る経費の一部を助成するものです。

がけ崩れの対策を行います

地域防災がけ崩れ対策事業 3700万円

令和3年8月豪雨により崩壊したがけ地の対策工事に係る設計委託料を追加するものです。(高田町田浦、濃施、下楠田地区の計3カ所。)

高田小学校建設を進めます

統合小学校建設事業 10億3300万円

- ・二川小学校改修・改築に係る工事管理委託料 1140万円
- ・建築本体・電気設備・機械設備工事費 10億1960万円
- ・地質調査委託料 200万円

賛成討論 前原 武美 議員

中尾 眞智子 議員
瀬口 健 議員

討論は各行いしましたが、意見を
集約し記載しています。

新高田小学校の給食は、センター式に方針を定めたという。市が方針を定めた時は速やかに市民に説明し、理解を得て計画・執行すべきと指摘もあったが、今回は校舎建設の補正予算の一部であり賛成する。

がまだす・みやま全力応援事業 第15弾

プレミアム付き商品券を発行します

1250万円

年始における個人消費を増やし、市内での消費を更に喚起するため、市内限定のプレミアム付き商品券(みやま・お年玉スマイルキャンペーン事業)を追加発行するものです。

- ・発行額 デジタル(スマイルペイ)5000万円
- ・プレミアム率 30%



※第15弾について詳しくはこちら↓



条例

みやま市国民健康保険条例の一部が改正されます

令和4年1月1日より産科医療補償制度が見直され、出産育児一時金本体の額を40万4千円から40万8千円に改めるものです。

同意

みやま市名誉市民の選定について

松嶋市長から、医療法人弘恵会ヨコクラ病院理事長で前日本医師会会長の横倉義武氏をみやま市名誉市民として顕彰するための提案がありました。

採決の結果、全会一致で同意しました。



請願

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について

全会一致で採択

↓
国へ意見書を提出

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



ここが聞きたい！

一般質問

一般質問って…？

一般質問とは、市議会議員が市に対し、市政についての疑問点を質問し、答弁を求めるものです。



脱炭素推進の課の設置は市長／市全体としての体制を検討する

中尾 国は2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする脱炭素社会の実現を目指す

と表明。本市も8月には「ゼロカーボンシティみやま」を表明した。その後、脱炭素社会実現に向けた新しい取組みがあるのか。

市長 二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金の内示を受け、脱炭素社会への計画を策定中。並行して、第2次みやま市地球温暖化対策実行計画も策定中だ。具体的には廃プラ油の農業利用や自家消費型太陽光発電の導入推進、省エネ診断の普及等を検討する。

中尾 環境省は脱炭素先行地域を選定し、補助金や交付金で支援すると言う。受け皿となる具体的な部又は課を設置し、推進体制を構築せよ。

市長 脱炭素先行地域を目指すには地域に応じた取組みが必要であり、市全体で適切な推進体制

制を検討していく。



中尾眞智子 議員



中尾 ごみ分別や温暖化対策は市民の理解や協力が不可欠だ。市民3万7千人のごみマイスター育成を。

環境衛生課長 今までの環境指導に加え、ごみ分別・温暖化対策等を学んだ方にマイスターの称号を与える制度等を工夫検討したい。



みやま市マスコットキャラクター くっぴー

省エネは一人一人の心がけ

今福・岩津路線の交通改善を
市長／早速、地元の意向を伺う



瀬口 健 議員



瀬口 この道路は小・中学校等から非常に危険な道路として度々改修や交通規制の要望が出ているが認識は。

市長・教育長 見通しの悪いカーブ、狭い道路や歩道、速度違反等子どもには危険な道路だ。

瀬口 園児の死亡事故、接触による自転車の大破、速度違反や雨傘との接触は数多い。認識が低い。今福・岩津路線は、3月の今福陸橋の開通で交通量や危険性の緩和を期待したが、8か月経っても変化ない。陸橋への通行と時速30kmの厳守を業界へお願いすべきだ。

市長 貴重なご意見だ。検討する。

瀬口 貴重でも何でもなし。当然のことだ。お願いしても変わりなければ市のトップとしての思い切った改善策が求められるが。

市長 「通学路安全推進会議」を通じ対応する。



見通しの悪いカーブを走る大型車

瀬口 「会議」では同じ要望を十数年繰り返すばかり。だから市のトップの決断を聞いている。警察からも「減速するよう一部、道幅を狭くしたら」とのアドバイスもある。市のトップからは具体的な改善策が出ず残念である。大事故が起こるまで待てという事か。

市長 早急に地元の意向調査を行う。

不幸な猫を増やさない活動推進を
市長／「さくらねこ無料不妊手術事業」を進める



奥園由美子 議員



奥園 市は、公益財団法人どうぶつ基金の飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を行う事業に令和3年11月から参加しているが、詳しい事業内容は。

市長 月ごとに手術券が交付された頭数を、市内の動物愛護ボランティアグループが捕獲機で捕獲して手術会場に持ち込み、

どうぶつ基金の獣医師により不妊・去勢手術と混合ワクチン、ノミ・ダニ駆除薬を投与され、手術後に捕獲した場所に返すもの。繁殖を防ぎ、発情や発情期の鳴き声、尿によるマーキングがなくなり、尿の臭いも軽減される等の効果が報告されている。

奥園 令和3年度の事業は、地域集中プロジェクトとして実施されているが、今後どのように継続していくのか。

市長 南筑後地域での会場確保を目指して、調整が続いている。

無責任な餌やりにより野良猫が増え、糞尿被害、人間への猫ノミ被害等でお困りの方がいる。この課題解決は、人と動物の健康及び環境保全を図る「ワンヘルズ」の理念に一致するものであり、引き続き「さくらねこ無料不妊手術事業」を進めていく。



一時預かりされるボランティアの方

**YouTubeを活用した
情報発信を
市長/タイムリーに伝えられる
よう準備する**

前原 現代社会における情報発信・情報収集が、紙面読み取りから、動画で得るYouTubeへと大きな変動を起こしている。このことに対応するために、今後、配信をどのように考えているのか。

市長 現在は、月1回の広報紙やホームページ・みやま市公式SNS、またテレビのdボタン等、様々なツールを使い情報発信を行っている。

前原 日常生活に欠かせない情報収集が、新聞紙面からインターネットへ、テレビからYouTubeへと変わりつつある。情報は、必要な時・必要な時間に速やかに提供し、紙面ではなく語りかける動画としての配信こそが、市民の理解度が高くメリットがあることから、YouTubeやライオンによる情報発信を積極的に取り組むべきである。



前原 武美 議員

市長 総務省の調査では、ラインとYouTubeがあらゆる世代で利用されていることもあり、今後、更に効果的な情報発信ができるよう、ガイドラインや機器の整備を行い、全庁的に進めていく。



YouTubeでの市政情報発信を

**公民連携で未利用地の有効活用を
市長/新たな手法も取り入れる**

吉原 活用されていない市有地が多くあり、本市発展のために民間活力を最大限活かし、早急に対応すべきと考える。8年間開発が進んでいない「東町団地跡地」と「堀池園団地跡地」の計画は。

市長 これまでの手法では活用が進まないのが、民間事業者の意見を踏まえ新たな検討を進める。

吉原 長田地区のホテル誘致予定地に進出計画していた企業との協定は。またその後の計画は。

市長 令和3年5月に企業との協定を解除した。現在定住促進の観点を含め検討している。

吉原 今後の方針が決まっていない4校区の閉校後小学校跡地の活用計画は。

市長 3つの校区で年度内に活用方針がまとまる見通しである。



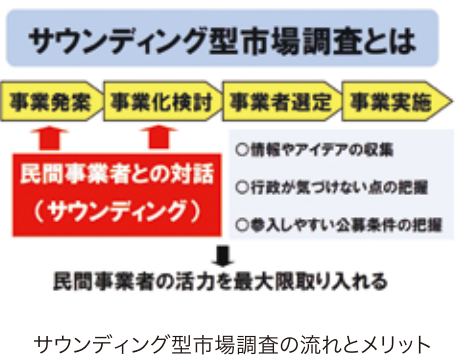
吉原 政宏 議員

吉原 みやま柳川インター北側の産業団地の進出企業もまだ決まっていない。誘致には市長のトップセールスが必要では。

市長 一生懸命トップセールスを行っている。

吉原 これらの未利用地の有効活用のため、事業の発案段階から民間事業者と連携したサウンディング型市場調査を取り入れたらどうか。

市長 民間活力を活かせる有効な手法となるように取り入れる。



**霊柩自動車条例の廃止を
市長／行革委員会で検討**



末吉 みやま市霊柩自動車条例は、運用する目的が規定されていない。

市長 市民の火葬に係る費用の負担軽減を目的としている。

末吉 負担軽減と答弁されたが、「市民に対して公平な負担軽減」なのか。

市長 霊柩車の利用は、死亡届時に市民課窓口で「先着順」としている。

末吉 生活に困った方を優先する等の施策はなく、市の行政サービスと言えない。利用状況は、例年火葬件数の39%程度であったが、令和3年度10月現在で20%に落ちている。他市37か所の火葬場で霊柩車を有する自治体は2団体。廃止理由は、車の老朽化及び民業圧迫等と答弁された。本市の霊柩車は27年経過し老朽化している。またコロナ禍により家



購入時より27年経過した市の霊柩自動車

族葬が多く、売り上げが減少する中で民業を圧迫している。今の時代、霊柩車の行政サービスは必要ない。この条例を廃止し、福祉政策として「生活に困窮している弱者」に、補助金等を交付する制度に変更することを提言する。

市長 弱者支援については、私も受け止めている。霊柩車の老朽化は事実である。行政改革推進委員会で十分検討する。

**豪雨による浸水対策と被災者支援を
市長／排水機場整備要望を強化する**



村上 瀬高小学校立地の吉岡川流域は、大雨の度に浸水エリアとなる。令和3年の8月豪雨では、短時間の間に瀬高小学校敷地内も浸水した。年々規模を増す豪雨だが、多くの児童たちが学ぶ小学校は安全でなければならない。

児童たち、加えて浸水区域の住民や農地への影響を軽減するために、排水機場整備の国に対する強い働きかけをすべき。

市長 浸水被害の解決には、排水機場を整備することが最も効果的であるとの考えのもと、国や関係機関に対し、できる限り早く整備が実現するよう要望活動を行う。

村上 豪雨による被災事業者は、コロナ禍に加えての打撃を受け、再建の道は非常に厳しいものとなっているが、現行制度では、農業以外の事業者に対する再建のための支援策はない。食の根幹である農業の優先的支援は理解

できるが、他業種への再建支援策も考えるべきではないか。

市長 直接の支援は今のところまだできていないが、国・県が行う低金利融資制度の情報提供に加え、市としてももう少し考える必要がある。



8月豪雨時の瀬高小学校前冠水道路

コミュニティバスの運行は 市長／利便性の向上を図る

森 コミュニティバスの乗降者が、不便で乗りにくいので、乗り合い福祉バスに変えてほしいという意見がある。

市長 近隣では、「ひろかわふれあいタクシー」や八女市の「ふる里タクシー」があるが、予約状況によってはすぐに利用できなかったり、コミュニティバスより高い料金が設定されている。本市では、路線の一部見直しやダイヤ改正などの利用向上を図りながら、運行を継続している。

森 日本では、高齢者の事故が多発している。スムーズに免許証が返納できるよう交通手段の確保は必要。ぜひ、検討委員会を作って、市民の意見をよく聞いて欲しい。

市長 「みやま市地域公共交通網形成計画」に基づき運行しているが、令和4年度が計画の最終年度になるため、市民の意見をよく聞き、利便性の向上を図っていく。



乗降者の少ないコミュニティバス



森 弘子 議員



市立図書館の司書の免許 を持つ職員の採用を

森 コロナ禍で元気がないと言われる図書館。司書の免許を持つ職員を配置して、司書の意見を取りまとめ元気な図書館へ。

市長 図書館長との連携を取りながら、より充実した魅力のある図書館になるよう、市民のニーズに対応していく。

新制度を活用した有害鳥獣対策を 市長／調査・研究が必要

古賀 中山間地域では、有害鳥獣の農作物被害が多発し、集落内を歩き回るイノシシに身の危険も迫っている。救いを求める市民の期待に応え、希望を消してはならない。

有害鳥獣を減らすには、地域活性化を図る総務省の「地域おこし協力隊」、専門的な知識と経験を持った総務省の「地域プロジェクトマネージャー」を活用すべきと考える。

「地域プロジェクトマネージャー」には、科学的な計画に沿って組織的な鳥獣の捕獲を行う環境省の「認定鳥獣捕獲等事業者」を迎え、猟友会駆除班の理解と協力のもと、猟友会駆除班、地域住民、行政が一致団結して「有害鳥獣捕獲プロジェクトチーム」を結成し、農地や市民の安全を守れないか。

市長 猟友会と協議を進め、将来に向けて調査・研究する。



古賀 義教 議員



古賀 「地域おこし協力隊」「地域プロジェクトマネージャー」など、新しい人材の活用により「まちづくり」や活性化を含めた有害鳥獣対策や猟友会駆除班の強化を図ることができないか。

市長 猟友会の尽力を大切に、今後、効果ある対策を考える。



市内で捕獲されたイノシシ

委員会報告



総務常任委員会

【定例会報告】

12月6日に委員会を開催しました。

委員会では付託された議案1件について審査しました。

議案「みやま市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、本市の職員が非違行為を行った場合における、懲戒処分 of 適正な手続きと効果を図るため条例を改正するものです。

懲戒処分については、戒告、減給、停職、免職があり、減給及び停職については期間等を定めて発令されていますが、今回、国及び県の取扱いを参考とし、懲戒処分に関する厳格な処分を行うため、減給の期間を最長「6月以下」から「1年以下」に延長し、給与の減額を「10分の1以下」から「5分の1以下」へ

改正するものです。また、停職の期間についても最長「6月以下」から「1年以下」に延長するものです。

慎重審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

また、一般会計補正予算についても所管の審査を行いました。



文教厚生常任委員会

【視察報告】

令和3年10月26日に、建設中のみやま市総合市民センターと完成した二川小学校仮設校舎の現地視察を行いました。



みやま市総合市民センター建設現場



二川小学校仮設校舎

【定例会報告】

12月7日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案4件、請願1件について審査しました。

主なものとして、議案「みやま市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」は、4小学校を統合し、「高田(たかた)小学校」を設置することに伴うもので、改正の施行日は、令和5年4月1日です。

議案「みやま市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」は、令和4年1月1日より、産科医療補償制度が見直され、掛け金が1万6千円から1万2千円に引き下げられることや、出産育児一時金の総支給額について、国が総額42万円を維持すべきとしたことを踏まえ、出産育児一時金本体の額を40万8千円とするものです。

請願「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるため、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、国の関係機関へ意見書の提出を求めるものです。

いずれも慎重審査の結果、原案どおり可決、採択すべきものと決しました。

産業建設常任委員会

【定例会報告】

12月8日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案2件等について審査しました。

議案「みやま市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、有明生活環境施設組合クリーンセンターの運転開始に伴い、可燃ごみの処理が同施設に変更となることから、条例の一部を改正するものです。改正の内容については、廃棄物の取扱区分について「市指定ごみ袋等」と「市長の指定する施設へ搬入するとき」の区分に改め、併せて、市長の指定する施設に「有明生活環境施設組合クリーンセンター」を追加するものです。手数料の変更はありません。

議案「市道路線の認定について」は、江浦町・今福線につ

いて、県道高田・山川線バイパス建設事業に伴い、県道高田・山川線の一部を重複認定するものです。

いずれも慎重審査の結果、原案どおり可決・認定すべきものと決しました。

その他、「令和3年度みやま市一般会計補正予算(第9号)」の所管分について、審査を行いました。



有明生活環境施設組合議会

組合議会議長の牛嶋利三氏の辞任に伴い10月7日に議会臨時会を開催し、新議長に中尾眞智子氏が就任されました。

火葬施設整備は、令和2年4月から「有峰苑みやま柳川」が業務を開始したことに伴い、旧火葬施設「有峰苑」の解体工事が令和3年9月に完了しました。これにより、ハード事業は全て完了したことになります。

一方、ごみ焼却施設建設も順調に進み、令和3年10月14日に火入れ式が行われました。11月1日から両市ごみの受入を開始し、現在は実際にごみを焼却しての試運転が行われています。

今後は、2月までの試運転・性能試験を経て同月末に施設の引き渡しが行われ、令和4年3月1日から本稼働する予定です。竣工式は、2月19日に予定されています。

柳川みやま土木組合議会

11月15日に第2回定例会を開催し、4議案が提案されました。

「令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定」は、歳入総額「3億1874万8千円」、歳出総額「3億350万5千円」、実質収支額「1524万3千円」そのまま翌年度繰越額となっており、決算におけるみやま市関係は、歳入が一般分担金「3411万4千円」、特別分担金「516万1千円」となりました。

「令和3年度一般会計補正予算」は、補正総額「253万5千円」を追加して、補正後の予算総額が「2億3453万5千円」となりました。

「正副組合長の公務災害補償等に関する条例の制定」を新たに制定、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加と規約変更について専決処分がありました。

いずれも慎重審議の結果、原案のとおり可決承認しました。

表紙のひと

大相撲 おおたけ 大嶽部屋 さかい 坂井 しょういち 翔一さん

今回はみやま市出身で力士の坂井翔一さん(26歳)にお話を伺いました。

坂井さんは18歳で親元を離れ、大嶽部屋に入門。「最初はホームシックになりましたが、離れて暮らすことで親の有難さを実感しました。」と坂井さん。小さい頃は野球をしていたという坂井さんが相撲を始めたきっかけとなったのは琴奨菊関(現在は秀ノ山親方)。琴奨菊関に憧れて、力士を目指したそうです。



「昔は勝つことだけにこだわっていましたが、今は自分の型を磨くことに集中したい。今の目標は幕下に上がる。そのために日々頑張ります。」と話す坂井さんからは、常に周りに目を配り、学ぼうとする姿勢が感じ取れました。

生まれ育ったみやま市は、おいしい食べ物もたくさん。自然も豊かで、帰ると安心できる場所。そんなみやま市に自分と同じように力士を目指す子どもたちがいたら、応援したいと話していただきました。私たちも坂井さんの活躍を期待しています。

聞かせて!

あなたの夢



みやま市マスコットキャラクター
くっぴー



清水小学校 5年

すぎもと らん
杉本 蘭さん

しょう来の夢

わたしは、しょう来助産師になりたいです。その理由は、小さいころから赤ちゃんが大好きだったからです。もう一つきっかけとなったのは、お母さんがわたしが四年生のときにかんご学校に行き始めたことです。お母さんは毎日毎日おそい時間まで勉強をがんばっています。わたしは、そんなお母さんを見て、正直大変そうだなあと感じていました。でも、お母さんは、学校で勉強してきたことや実習でたん当のかんじゃさんに、「あなたとまだいっしょにいたい」と言われたことなどを、うれしそうな顔で、話してくれます。だからわたしも、お母さんみたいにたくさん勉強して、妊婦さんや大変な出産に臨む人の役に立ちたいと思っています。これからこの夢に向かって大きく羽ばたいていきたいです。



編集委員
委員長 中尾眞智子
副委員長 吉原 政宏
委員 河野 一仁
委員 村上 義徳
委員 奥園由美子
委員 宮本 五市

《次回定例会》
3月1日(火)
からの予定です。



インターネットで
中継・録画を配信
市ホームページ
「みやま市議会」の
「インターネット中継」
からご覧ください。

編集後記

令和4年明けましておめでとうござい
ます。
昨年は、コロナに明けコロナに暮れた
一年でした。
子どもたちの学校行事も、仕事も、市
民みなさんの行事も中止や延期、または
新しいかたちで行うことを余儀なくされ
ました。
そんな中でも、それぞれが工夫をし、
助け合い、明るさを持って過ごされてき
たのではないでしょうが。
本当に今年こそ、市内いたる所でみな
さんが集まり、楽しく明るい声が聞ける
時を待ちたいと思います。
今年の秋には、総合市民センター、愛
称MIYAMAX(みやまつくす)が完成
します。たくさんの方のみなさんにご
利用いただき、心身ともに楽しく健康を
保つための集いの場所となることを期待
しています。
今年の寅年は、壬寅(みずのえとら)で、
一説によると優しい寅を表すそうです。
市民みなさんが、この一年を穏やかで幸
せに過ごされることを祈念いたしてお
ります。

編集委員 村上 義徳

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>